



平成26年 1月30日

各 位

会社名 株式会社ダスキン
代表者名 代表取締役社長 山村 輝治
(コード番号：4665 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 鶴見 明久
電話 06-6821-5071

中期経営方針（数値目標）修正に関するお知らせ

当社は、平成26年 1月30日開催の取締役会において、平成24年 3月22日付で公表致しました中期経営方針最終年度（平成27年 3月期）の数値目標を修正することと致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 修正の内容

| | 修正前 (平成24年 3月22日公表) | 修正後 | 増減 | |
|------------|------------------------|---------|-------|-------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 連結売上高 | 1,820億円 | 1,730億円 | ▲90億円 | ▲4.9% |
| 連結売上高営業利益率 | 7.0% | 3.7% | ▲3.3 | — |

2. 修正の理由

当社は、平成25年 3月期を初年度とする3ヵ年におきまして、商品開発から販売チャネルまでの仕組みの改革・改善を進め、すべてのお客様に「親身になってくれて、身近で利用しやすいダスキン」と実感いただき、なお一層支持されるブランドとなることを目指した中期経営方針に沿った取り組みを進めているところであります。

しかしながら、初年度であった平成25年 3月期は、売上高、営業利益とも計画未達成に終わり、当平成26年 3月期も非常に厳しい状況が続いております。一昨年末の新政権誕生以後の各種経済政策により、我が国経済がデフレ脱却に向けて全体としては回復基調で推移する中、当社が強みを持つ小規模の商業施設や飲食店は、今なお持ち直す状況には至っておらず、また、雇用・所得環境の改善も道半ばである現在、当社は依然として厳しい経営環境におかれており、主力事業であるダストコントロール事業、ミスタードーナツ事業とも計画数値から大きく下方に乖離しております。更には、計画時に想定した以上の原材料価格の高騰や平成26年 4月からの消費税率引き上げ等も勘案し、中期経営方針（数値目標）の修正は不可避と判断したものであります。

基本戦略、重点施策は変更せず、引き続き各施策の更なる強化とスピードアップを図り、本件修正目標の達成に向けて最大限取り組んで参ります。

以上

本件に関する報道機関からのご照会は、以下へお願い申し上げます。

株式会社ダスキン 広報部 電話06-6821-5006